



高田みかん

毎月、まちの話題やまち協の行事などをご紹介します。

2024年2月号

制作：企画広報部会



1月7日の高田はどんどや



豊原下町第2町



町内有志が“どんどや”を初めてから、もう四半世紀となろうとしているとのこと。今回は、町内の行事として、炊出しや消火活動などの自主防災訓練も合わせての実施です。
町民と消防14分団、日本語を学ぶ外国人ら約70人が参加。伝統行事を楽しみ、交流を深めました。

高田まち協 & 高下東町

オープニングセレモニーは第五中学校吹奏楽部による演奏の披露。午前10時の点火式では6人の小学生によって火が放たれ、やぐらのとっぺんまで一気に炎が燃え上がりました。
約五百人の来場者は、豚汁のふるまいや“ちょんかけごま”の実演、凧あげ、お楽しみ抽選会などで、初春の恒例行事「どんどや」を楽しみました。



実行委員会では年末から竹の切出しや会場の整地などの準備を実施。
当日も早朝から資器材の運搬・設置。豚汁づくりなど、新年早々大忙しでした。



高田10位

校区対抗駅伝競走



1月14日に、第19回八代市校区対抗駅伝競走が開催されました。大会には16校区15チームが参加。
高田校区は、昨年11月に実行委員会とチームを立ち上げ、12月から毎週日曜日に練習会や試走会を重ねて、本番に備えてきました。
チームに参加してくれた、小学生3人、中学生13人、高校生3人、高専生3人に感謝します！

温知の森 すっきりと

伐採と剪定 高田小150周年記念実行委が実施



同実行委は1月13日と14日に、児童が遊び親しむ「温知の森」の伐採・剪定を作業委託しました。
記念事業の募金について最終的な有効活用を学校側と協議し、温知の森を整備することにしました。
ご協賛いただいた皆様へ改めて感謝申し上げます、とのことです。

山本さんの退職記念放浪記 (バイク日本9割周) Vol.16



日本三景の“天橋立”の定番の股のぞき。観光客がたくさん。でもマスクしているのは少数!!

義妹推奨の「舟屋」(京都府伊根町)へ。景観素晴らしくおだやかな入江けど大シケのときは?

浜詣海水浴場(京丹後市・日本夕日百選)でテント泊。砂浜には車両通行可のエリアあり。

編集後記

まをりる 春期 を今本 を被に能
し張がこ春で2 振一地私申災な登な
よつちとのをす月 り度震たしさら半ぜ
うてなが訪迎がは 返をち上れれ島元
!前背でれえ、一 つ防経もげたた地旦
を中きをま暦年 て災験8ま方方震に
向をるいすので みのし年す々々。弁
い伸よち。上最 ま意ま近。ににお生
てばう早。でも 識しく お哀亡し
(頑し、丸感、いよとた前 見悼くた
り)胸まじ 立時。う行がに 舞をなの
動、熊 い、りか



道の駅「浜坂の郷」(兵庫県新温泉町)で朝食を、と寄ったら開店前。空腹過ぎてコンビニへ。



ラクダに乗る人、パラグライダーで飛ぶ人。ただ走り回る高校生。そう!ここは鳥取砂丘。



白うさぎ神社。因幡の白兔で有名で、日本医療の発祥地にして、縁結びのパワースポットでもある。